

宮城県看護協会様主催 潜在看護職員復職支援研修

9月9日に潜在看護職員復職支援研修が当スキルラボで開催され、9名の方が参加されました。本研修は宮城県看護協会様が主催となり、最近における看護の知識及び技術を修得することによって職場復帰等を容易にすることを目的に毎年開催されています。内容は、「急変対応について」、「医療機器の安全な取扱いについて」の2部構成で実施されました。

午前中に実施した急変対応では、昨年度に引き続き東北大学病院高度救命救急センター看護師の齋藤様にご指導いただきました。座学では急変エピソードを交えながらお話いただき、心肺蘇生法成人シミュレータ【レサシアン】を用いた心肺蘇生法の実技も行いました。参加者は胸骨圧迫時のテンポと深さが適切になされているか注意をしながら実施していました。

続いて実施した医療機器の安全な取扱いでは、同じく大学病院所属看護師の庄島様にご指導いただきました。講義では特に医療安全対策の視点からお話いただき、参加者は興味深く聴講していました。最後は参加者全員が輸液ポンプとシリンジポンプのセットの手順について実際に触れ、研修を終了しました。

参加者の中には、現場から離れた時期があり緊張感や不安感のある中で参加された方もおりましたが、今回の研修を含め今後看護協会様で開催される研修会への参加により少しずつ解消され、職場復帰の際に役立つことを願います。

